河合塾

● 第3回全統共通テスト模試から見直しておきたい問題

【 問題 】

第5問

問 5　下線部ⓔに関連して，後の①～④の文章は，近代日本の文化に影響を与えた人々とその思想や活動についての説明である。それぞれの文章中の空欄 a ～ d には人名が，空欄 あ ～ え には語句が入る。ただし，次の**語群**からそれぞれを選んで空欄を埋めようとしたとき，適当な人名・語句が入り，その人物の思想や活動の説明として正しい文章となるものは，一つしかない。正しい文章として完成するものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 25

語群（人名）

島崎藤村	森鷗外	北村透谷	与謝野晶子
柳田国男	柳宗悦	西田幾多郎	南方熊楠

語群（語句）

民芸運動	則天去私	独立自尊	修験道
民俗学	博物学	諦念	内部生命

① a は，自己の個性の発展を追求すると同時に他人の個性も尊重する自己本位の生き方を説いた。しかし，自己の確立と自己内部のエゴイズムとの相克に苦しんだ彼は，晩年には あ の境地を願うようになったとされる。

② b は，西洋の近代哲学が主観と客観，精神と物質という対立を前提としていることを批判した。そして，い の体験などを通じて，真の実在は主客未分の直接的な経験であると考え，これを純粋経験と名付けた。

③ c は，女性たちによる文芸誌である『青鞜』を創刊し，女性たちに人間の自由の自覚を促した。そして，自ら筆をとった創刊の辞の中で，「元始，女性は実に う であった。真正の人であった」と宣言した。

④ d は，芸術は芸術家だけによって制作されるものと考える近代西洋の芸術観を批判した。そして，芸術は，民衆の心を豊かにし，民衆の日常生活に役立つものでなければならないという立場から，え を提唱した。

©Kawaijuku Educational Institution.

【 ポイント 】

正解:④

④の空欄d に「柳宗悦」を入れ、空欄えに「民芸運動」を入れると正しい文章となります。①の空欄a には「夏目漱石」が、空欄あには「則天去私」が入りますが、語群（人名）中には「夏目漱石」の名前がないので、正しい文章にはなりません。②の空欄b には「西田幾多郎」が、空欄いには「参禅」または「坐禅」が入りますが、語群（語句）中には「参禅」または「坐禅」がないので、正しい文章にはなりません。③の空欄c には「平塚らいてう」が、空欄うには「太陽」が入りますが、語群（人名）中には「平塚らいてう」の名前がなく、語群（語句）中には「太陽」がないので、正しい文章にはなりません。

この設問は、日本のさまざまな思想家の考えが理解できているかどうかを試すものでした。この設問に限ったことではありませんが、倫理の過去問研究や模試の見直しを進めていく際には、選択肢あるいは空欄に入る候補記述の一つひとつについて、それぞれ「誰の考えについて書かれたものであるか」「それぞれの記述が適当に書かれているかどうか」にこだわって学習していきましょう。正解とはならなかった選択肢の記述・用語・人名について、「この記述は誰の思想について書かれたものであるか」「なぜこの選択肢が正解ではないのか」「この人物について教科書にはどのように書かれていたか」を確認していくことが、倫理の知識事項の幅広い復習につながります。不正解だからといって無視せず、注意深く解説文・学習の手引きなどを読み返し、理解を深めていきましょう。特に日本思想や西洋近現代思想の単元においては、教科書に掲載されている人物の数が多く、一つの設問で多くの思想家に関する知識を横断的に扱う設問がよく出題されます。教科書を用いて、見落としている人物（未習の思想家）がいないかどうかの最終チェックを行うことをおすすめします。

©Kawaijuku Educational Institution.